

平成29年度 九州中学校体育大会
第46回 九州中学校卓球競技大会
申し合わせ事項 「競技進行について」

- 1 開場時間 8/8 午前8時30分 8/9, 10 午前8時30分
2 練習時間

	8月8日(火)	8月9日(水)	8月10日(木)
大競技場	9:00~14:00	8:40~9:00	8:40~9:00
小競技場	9:00~13:00	8:40~17:00	8:40~12:00

＜練習コート割り当て＞

大競技場	男女	1~3	4~6	7~9	10~12	13~15	16~18	19~21	22~24
	割当県	沖縄	鹿児島	宮崎	熊本	大分	長崎	佐賀	福岡
小競技場	男女	1	2	3	4	5	6	7	8
	割当県	沖縄	鹿児島	宮崎	熊本	大分	長崎	佐賀	福岡

- 3 団体戦のオーダー交換は、対戦するコートで行う。その後も同様に行う。
オーダー交換は速やかにできるように、ご協力をお願いしたい。なお、決勝トーナメントでは、相手チームが確定次第、直ちに行う。
- 4 オーダー用紙は3枚複写なので、強めに記入すること。
(1) 対戦校を確認の上、フルネームで間違いのないように記入すること。
(2) オーダーの提出は両監督立会いのもとに主審が点検を行い、その場で1枚ずつ交換し、1枚は各自が控えとしてとっておく。残り1枚は主審が記録用紙に貼り付け、試合後に各チームに1枚ずつ記録とともに渡す。
- 5 団体戦は原則2台で行うが、隣のコートが空いていて試合開始後60分を過ぎても5試合目に入っていない場合は3台で行う。
その際、コートの変更などもあり得る。また、試合開始時間になっても前の5番手の試合が行われて隣のコートが1台あいている場合は、次の試合を1台で入れていく。
- 6 試合出場のコールがあった場合、直ちに指定のコートに入り、試合の準備をすること。
7 ベンチは、リーグ戦・トーナメント戦の若い番号の学校(選手)を本部に向かって左側とする。(係による誘導はしない)。
- 8 団体戦予選リーグの第1試合及び個人戦の1回戦については、各コートに整列し、放送の指示により一斉に始める。
- 9 団体戦の予選リーグと決勝トーナメント共に3点先取とする。

＜リーグ戦の順位決定について＞

- (1) リーグ戦の順位は、そのグループ内での勝者を2、敗者を1、不戦敗を0とした試合得点を与え、試合得点の高い順に順位が決定する。
(2) 同一グループ内で2チーム以上の勝敗数が同じチームが存在する場合は、その2チーム以上の相互間の対戦成績による勝率により決定する(下図参照)。
(3) 試合得点計算によって2チームが同じになった場合は、その2者間の勝者が上位となる。

学校名	A	B	C	D	試合得点	勝率	順位
A		○3-0	○3-1	○3-2	6		1
B	×0-3		×2-3	○3-2	4	5/5	3
C	×1-3	○3-2		×1-3	4	4/5	4
D	×2-3	×2-3	○3-1		4	5/4	2

- 10 予選リーグは試合順のみ提示して、コート毎のタイムテーブルは設けない。放送をよく聞くこと。関連して、2階応援席の前から2列は常に応援のためにあけておくこと。試合終了後ただちに次のチームの応援にゆずること。
- 11 決勝トーナメントの抽選方法について
(1) 決勝トーナメントに進出した各チームのキャプテンが抽選を行う。
(2) 予選リーグの1位を4シードに振り分ける。
(3) 同県2校が予選各ブロックをともに1位で勝ち上がった場合は逆ブロックに配置する。
(4) 決勝トーナメントの1回戦では、同県1位、2位は対戦しない。
(5) 予選リーグで対戦したチーム同士は、決勝トーナメントの1回戦では対戦しない。
(6) 各リーグ1位を先に抽選し、その後、上記の(1)(2)(3)を配慮しながら各リーグ2位を抽選する。

申し合わせ事項 「競技上の注意について」

- 1 競技は、現行の日本卓球ルールによる。
- 2 特に注意すべき事項
 - (1) **ラケット・ラバーについて**
 - ① 公認されたラケット・ラバーであること。ラケット本体に J T T A A, I T T F のマーク及び指定業者名が刻印されているか、商標のあるもの。
 - ② ラバーはラケットの大きさより大きすぎず、小さすぎないこと。
 - ③ ラケットは破損しない限り 1 試合 1 本とする。
 - ④ 接着剤については、許可されたものを使用する。ラバーの張り替えは所定の場所で行う。場内では張り替えない。
 - (2) **サービスについて**
 - ① サービスルールを徹底する。
 - ② サービスを開始してから、ボールを打球するまでの間、サーバーはレシーバーにボールが見えるようにしなくてはならない。
 - ③ サーバーは、ボールに回転を与えることなく、フリーハンドの手のひらから離れた後、少なくとも 16cm 以上の高さにボールをほぼ垂直に投げ上げなければならない。
 - ④ 疑わしいサービスについては、1 回目は警告とし、2 回目以降は失点となる。
 - (3) **タイムアウト制について**
 - ① タイムアウト制を導入する。
 - ② 団体戦においては、監督又は選手が申し出た時点で、1 マッチにつき 1 回、1 分以内でタイムアウトを要求することができる。監督と選手の意向が違う場合には監督の申し出を優先する。
 - ③ 個人戦においては、ベンチに入っている監督・アドバイザー又は選手のいずれかが、1 マッチにつき 1 回、1 分以内でタイムアウトを要求できる。監督・アドバイザーと選手の意向が違う場合は選手の意向を優先する。
 - (4) **競技について**
 - ① 相手の打球が、プレーイング・サーフェスの上方を通過するか、エンドラインを越えた場合は、直接ラケット又はラケットハンドに触れても失点にはならない。
 - ② ゲームの間は、ラケットは卓球台の上に置いてベンチに戻ること。
 - ③ あるゲームが 10 分を経過した場合は、促進ルールを適用する。ただし、両方の競技者または組のポイントスコアの合計が少なくとも 18 ポイントに達した場合には、促進ルールは適用されず、残りのゲームも自動的に促進ルールは適用されない。
 - ④ ゲーム間のアドバイスは、1 分以内とする。
 - ⑤ 試合前 2 分間の練習の後、直ちに試合に入る。その際のアドバイスは受けないこと。
 - (5) **服装について**
 - ① 試合前、2 分間の練習時より試合用の服装になること。
 - ② ゼッケンをつけて文字は明瞭であること。
 - ③ ユニホームのシャツはきちんと入れること。
 - (6) **マナーについて**
 - ① 相手や観客に不快感を与え、また、そのゲームの評判を落とすような態度をとらないこと。
 - ② 試合前後のあいさつは 1 回のみにとどめる。
 - ③ タオルの使用は、6 ポイントごとに行うことができる。また、ファイナルゲーム時のチェンジエンドの時に行うことができる。
 - ④ 一方の競技者または組（ダブルス）が競技の継続の用意ができている時は直ちに用意をする。
 - (7) **抗議について**
 - ① 団体戦においては、監督のみ行うことができる
 - ② 個人戦については、その競技者のみ行うことができる。
 - (8) **その他**
 - ① 競技上、不必要かつ支障を及ぼすと思われる装飾品など身につけて参加しない。
 - ② 休憩時間を除いては、試合中のアドバイスは一切禁止されている。これを違反したものは、1 回目イエローカードで全員が警告され、2 回目以降は退場処分となる。
 - ③ 試合結果については、1 階研修室前に掲示する。
 - ④ 部旗の大きさは 1.5m × 2.0m 以内とする。